人のために何かをすることで
誰もが素晴らしい人になれます。

By マーチン・ルーサー・キング(牧師)

清水 学

2017年6月24日

プロフィール

清水 学

ユニオン投信株式会社 アドバイザー（ユニオンファンド創設者）・セイコーエプソン労働組合 アドバイザー
ファイナシャル・プランナー（ＡＦＰ）・２級ＦＰ技能士

セイコーエプソン株式会社で製造部門 ⇒ 設計部門に従事後、セイコーエプソン労働組合役員就任。
セイコーエプソン労働組合では、本部書記長や副執行委員長を歴任。

労働組合の新機軸としてライフ（生命・人生・生活）サポート活動を立ち上げ、賃上げ主体の活動脱皮を推進。
“ 労働界の革命児 ” や “ 労働組合界の破壊・創造者 ” と(一部から)命名されている。

２００８年に『勤労者が、勤労者とその家族のための財産づくりを応援する』という目的を掲げ、
ユニオン投信株式会社設立に奔走後「ユニオンファンド」を創設し、運用部担当取締役を歴任。

相談業務、各種講師、執筆業務などの活動をしているが、多くの講師やコンサルタントが「理論先行型」・「知識偏向型」といわれている中、日本では数少ない「実務経験型」・「現場実践型」の講師・コンサルタントといわれている。
（キャリアやメンタル相談、ヤミ金対峙、経営分析、非営利団体の活動支援などにも携わっている。）

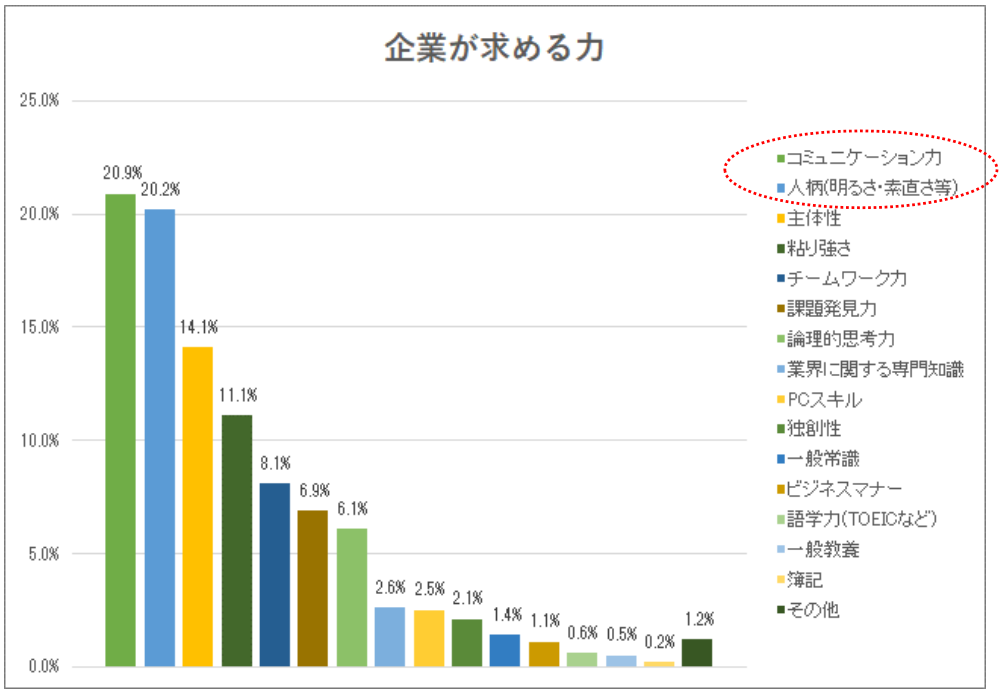
また、「ファイナンシャルプランナー(家計の専門家)」の中でも「労組役員」・「投資信託会社」という、
同様の人がいない珍しいキャリアを有している。

『 “ 売り手　企業 ” 側ではなく、“ 買い手　生活者 ” 側の視点で伝えること』を使命としている。

注記）
◆2017年8月20日：セイコーエプソン株式会社退職予定
◆2017年9月初旬：勤労者とご家族、子どもや学生さんのライフ(生命・人生・生活)サポートを行う会社を起業予定
・・・今後ともお付き合いのほど宜しくお願いいたします！

I. 企業が求める人材

1. 企業が求める“力”



（出所）経済産業省 2010年「大学生の社会観の把握と社会人基礎力の認知度向上実証に関する調査」

I. 企業が求める人材

2. 企業が求める“人材像と必要な資質・能力”

●変化の激しい社会で、課題を見出し、
チームで協力して解決する力（課題設定力・解決力）

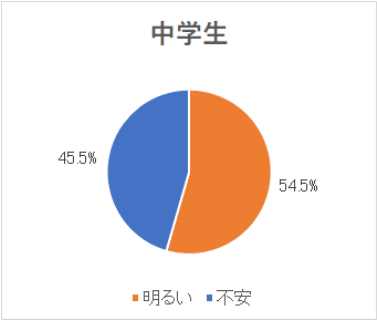
●価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力
（コミュニケーション能力）

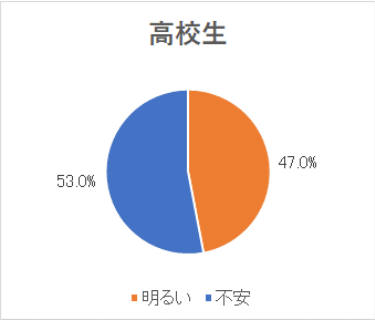
（出所）公益社団法人 経済同友会 2016年3月9日資料「これからの企業・社会が求める人材像と大学への期待」

- 「経産省」と「経済同友会(経営者団体)」ともに、「コミュニケーション力(能力)」を重視している。
  ・・・他方、日本においては「コミュニケーション」の“定義”が不明瞭。
  情報伝達、情報交換、意思疎通、意志疎通、対話、会話など様々。
- 2つの調査結果ともに、「専門スキル的な力」よりも、「コミュニケーション」や「人柄」・「主体性」「チームワーク」といった、言わば“人間力”のようなものを求めている。
  私自身は、一言でいえば【コミュニケーション力＝対人関係力】と考えている。

II. 中学生・高校生の現実？

1. 10年後の自分の見通し





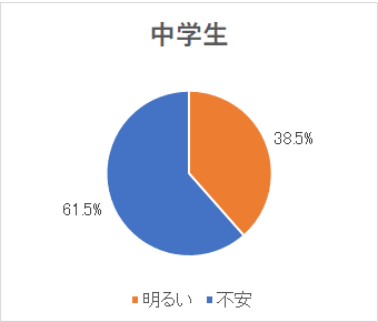
- 本アンケート結果は、全員に当て嵌まるものではない・全体を捉えているものではないとは思うものの、中学生・高校生とも“明るい将来見通し”を持っているのは約半数しかいない！
  成長（中学生 ⇒ 高校生）に連れ、“不安”の方が多くなっていることも懸念事項。
- 要因は複数あり、要因を断定するのは難しいと思うが、後述の「今の大人に対するイメージや生き様」は大きな要因の一つと考えている。

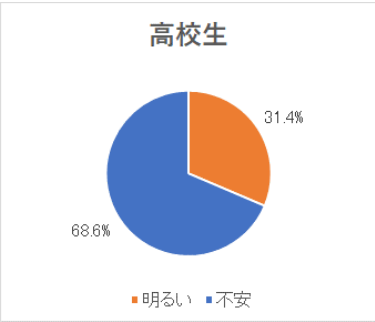
（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

II. 中学生・高校生の現実？

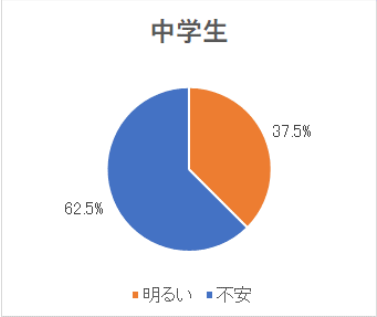
2. 10年後の日本や世界の見通し

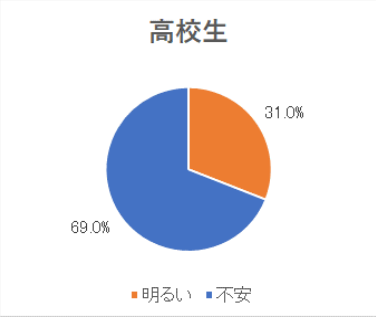
[日本]





[世界]

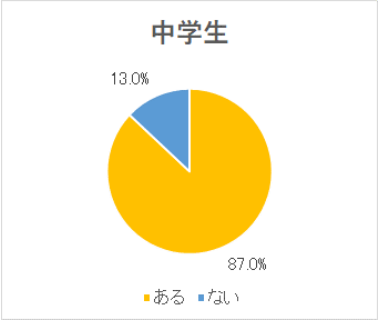


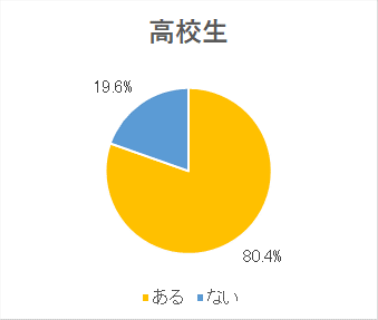


（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

II. 中学生・高校生の現実？

3. 自分の10年後を具体的に考えたことがあるか



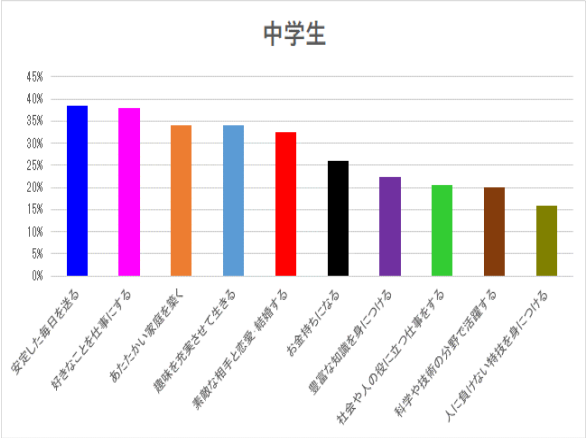


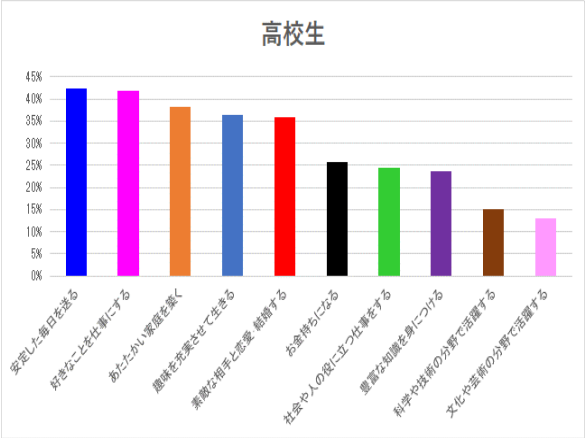
- 上記アンケート結果は、正直言ってビックリ！・・・ほんとう？ という疑問も沸く。
- 自分が中学生や高校生だった時には、自分はもちろん友人でも将来を具体的に考えていた人は極少数だった！
  実際、9年間にわたって大学で講義を行わせていただいているが、自分の将来を具体的に描けている大学生は極少数！

（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

II. 中学生・高校生の現実？

4. 将来の夢（上位10項目）



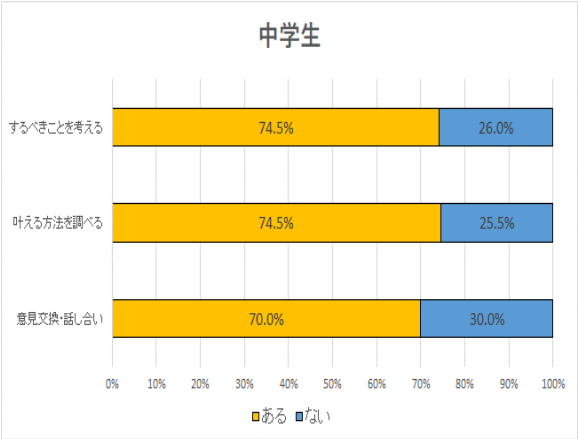


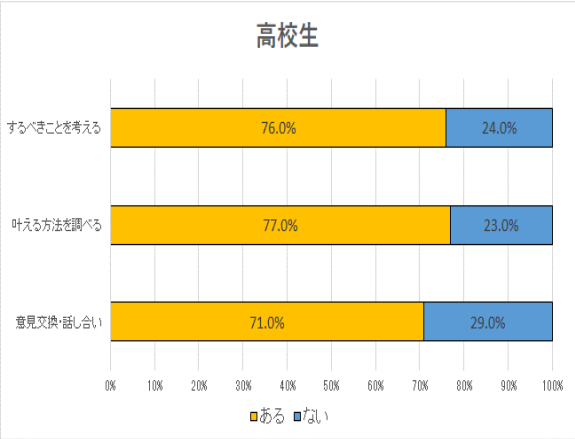
- 中学生・高校生ともに少し残念な答え・・・「社会や人の役に立つ仕事をする」がTOP3に入って欲しかった！
  ・・・ただし、この結果を生んだのは中学生・高校生ではないと思う！（今の大人の行動が生んだと考える）

（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

II. 中学生・高校生の現実？

5. 将来の夢やなりたい職業に向けた準備をしたことがあるか（方法含む）



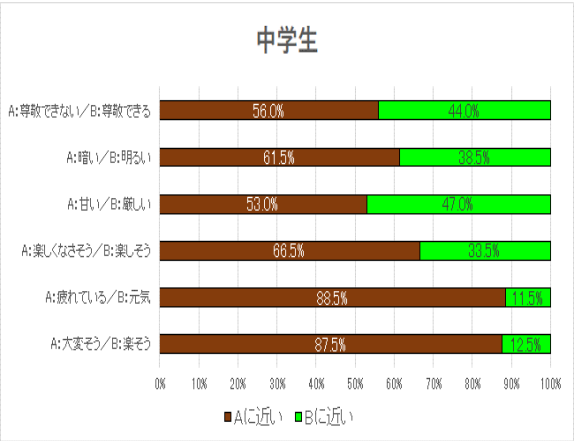


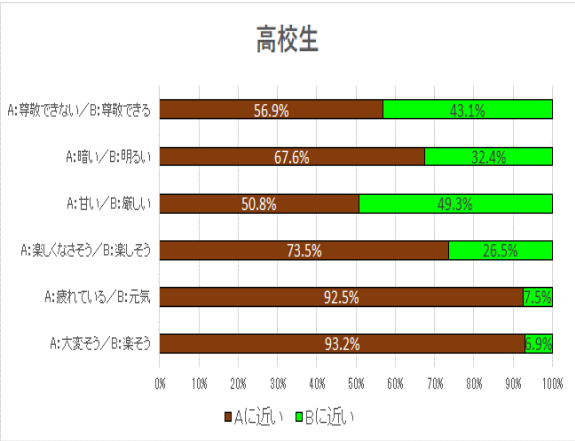
- **7ページ同様。**

（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

II. 中学生・高校生の現実？

6. 今の大人に対するイメージ



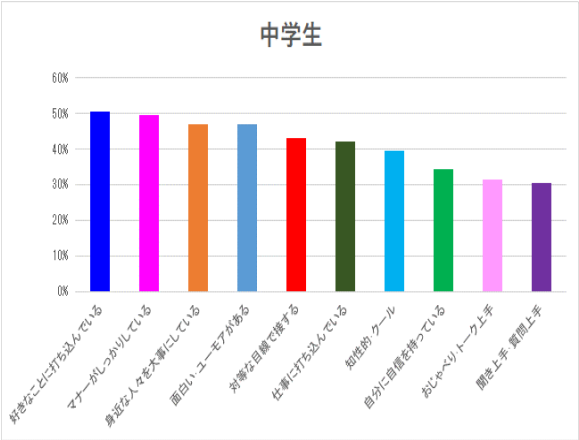


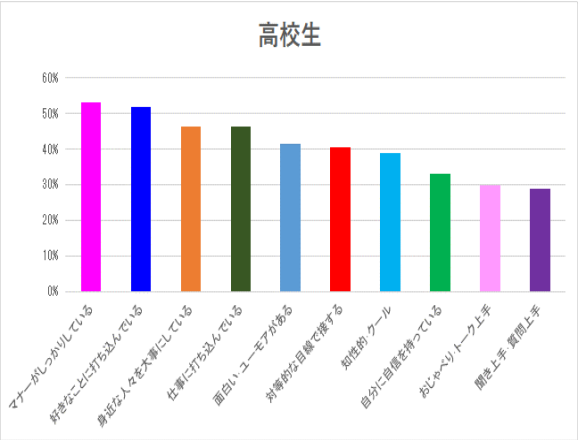
- **先にも述べたが、「今の大人の姿」が中学生や高校生の夢なり希望を奪っている可能性が！**
  ・・・小学生や大学生も含め、一番身近にいる大人を観て、感じ・育っていると考える。

（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

II. 中学生・高校生の現実？

7. カッコいい大人のイメージ（上位10項目）





- **「今の大人」は上記とは“逆”のイメージで観られている認識を、大人自身が持つことが必要！？**
  ・・・好きなことに打ち込んでいるように見えない、マナーが善くない（電車の中の携帯電話マナー） **など。**

（出所）ソニー生命　2017年4月25日公表「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」（中学生：200名、高校生800名の計1,000名のアンケート結果）

III. 皆様への問い掛け

Q1：皆さんが子ども時代に、親や学校の先生、大人に「もっと勉強しろ！」と言われて勉強しましたか？（勉強したフリは、勉強したことになりません。）

Q2：皆さんが子ども時代に、親や学校の先生、大人に「もっと部活動に励め！」と言われて奮起しましたか？

Q3：皆さんが子ども時代に、親や学校の先生、大人に「本を読め！」と言われて本を読みましたか？

Q4：皆さんが子ども時代に、親や学校の先生、大人に言われたことを、継続・持続できましたか？

III. 皆様への問い掛け

子どもは、それを言った親や学校の先生の“姿”をよく観ています。
言った大人が実践しているのであれば、その姿を“真似る”
可能性が高いと思います。

子どもに限らず、大人社会でも同様です。
上司や先輩に言われたことは、一応やります。
しかし、“魂”は入っていません。

子どもも大人も、相手が怖かったり、自分の身･立場を守るために
言われたことはやろうとします。（本能的な自己保身）
しかし、無理を続けると心身に不調を来してしまうこともあります。

人間は、「人（他人）から課せられたことに耐える」ことは難しいが、
「自ら課したことには耐えられ、例え挫折を味わっても再起できる」
･･･私が社会人になって知り合った経営コンサルトから教わった言葉です。

III. 皆様への問い掛け

1. 全て（人生・生活・仕事等）において（健康の次に）一番大事なこと

ひらがな

漢　字

III. 皆様への問い掛け

1. 全て(人生・生活・仕事等)において(健康の次に)一番大事なこと

「挨拶」は、コミュニケーション力＝対人関係力(私の定義)の
基本中の基本と考えます。
「挨拶」ができない人に何ができるのか？ と考えています。

一方、「挨拶」はその意味も含めて意識していないと、おろそかに
なりがちです。

「挨拶」をしても子どもや相手に無視されることもあります。
それでも見返りを求めず、「挨拶」をし続けていれば、
いつの日か、子どもや相手が　　を開いてくれると信じています。

III. 皆様への問い掛け

≪余談:その一≫

特に大企業の多くが、頻繁に「挨拶運動」をやっています。
学校でも同様な運動を見かけます。

「挨拶」が出来ていないから、わざわざ“運動”をするのです。
“運動期間”が過ぎると、徐々に「挨拶」が交わされなくなり、
再び“運動”を繰り返しています。

“当たり前のことを当たり前にやる”ことが意外と難しい。
だからこそ、意識して自分から「挨拶」をすることを習慣化する
必要があると思います。

「挨拶」が定着している企業や学校は“運動”をしていません。
そして、中長期的に観て、「挨拶」が自然に出来ている企業や
学校等は健全な結果を出し続け、人間関係が良好です。

III. 皆様への問い掛け

≪余談：その二≫

私は講演・講義・セミナー時に、参加者の皆様にお聴きすることがあります。（子ども、大人は問わず）

「心」はどこにあると思いますか？　という質問です。

多くの皆様は、「頭(脳)」を指差したり、「心臓の辺り」を触ったり、「お腹の辺り」を触ります。

都内のある小学校での出来事です。（小学生にお金の話をした時の私の体験）
小学4年生の女子が、こう答えました。

『　　』

・・・私が感動したエピソードの一つです。

III. 皆様への問い掛け

2. 全て（人生・生活・仕事等）における3つの心構え・行動

- ゴミを一つ捨てる人は、大切な何かを一つ捨てている。
  ゴミを一つ拾う人は、大切な何かを拾っている。
  by　作者不明

- 目に見えないものにこそ、価値がある。
  愛、思いやり、信念、情熱、勇気、想像力、夢・・・
  by　作者不明

- 明日死ぬつもりで生きなさい。
  永遠に生きるつもりで学びなさい。
  by　マハトマ・ガンジー

IV. 子どものキャリア教育

1. 子どもに何をやらせるかではなく、自分が何をやるかが肝要

前掲（12ページ）の通り、自分（大人）は横に置いて、
“子どものみに何かをやらせる”という発想や行動は、結果として
子どものためにならないと考えます。

子どもに何かやってもらう前に、親や先生、身近な大人が率先垂範して、何かをやっている姿を見せることこそ、真の教育・教養ではないかと思っています。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」

By 山本 五十六

それでは、自分が何をやってみせるのか？
私自身の体験のみでなく、私のこれまでの人生の中で出会った成功者と言われていたり、周りの人々に尊敬され頼りにされている方々の共通事項を紹介します。

IV. 子どものキャリア教育

2. 憧れを抱く大人に共通している行動

①「挨拶」をできるだけ明るく・笑顔でしている（特に朝の挨拶）

⇒ コミュニケーション力（　対人関係力）、モチベーションアップ・キープ

② 毎日、数分でも「＊活字」を読んでいる

⇒ 疑似体験ができる（　世界観が広がる）、想像力、複眼思考、集中力、バランス感覚

③仕事や活動、趣味などを通じて、嬉しかったこと・感動したこと・反省したこと・気付いたこと/気になったことなどを手帳等に書いている

⇒ 課題発見力、課題解決力、自分（思考・志向・趣向など）理解

＊活字：印刷した文字。また、書物のこと。
・・・ちなみに私は、バッグの中・ダイニング・寝床・お風呂・トイレに各一冊置き、並行してジャンルの異なる本を読んでいます。

IV. 子どものキャリア教育

2. 憧れを抱く大人に共通している行動

④10年後、20年後、30年後などの自分の「ありたい姿」を考え、
書き出したものを家の壁やトイレに貼っている（修正はいつでも自由）

⇒ 自己修正力、自分（思考・志向・趣向など）の変化に気付く、胆力

⑤毎日欠かさず、ウォーキングやストレッチ、筋トレなど少しの運動を続けている

⇒『健全な身体には健全な精神が宿る。その逆も真なり』

・・・ちなみに私は、毎日「腕立伏せ30回・腹筋30回・スクワット30回」を欠かさず行っています。
出張・外出・通勤時は、できるだけ歩く、エスカレーターやエレベーターは極力使わないようにしています。

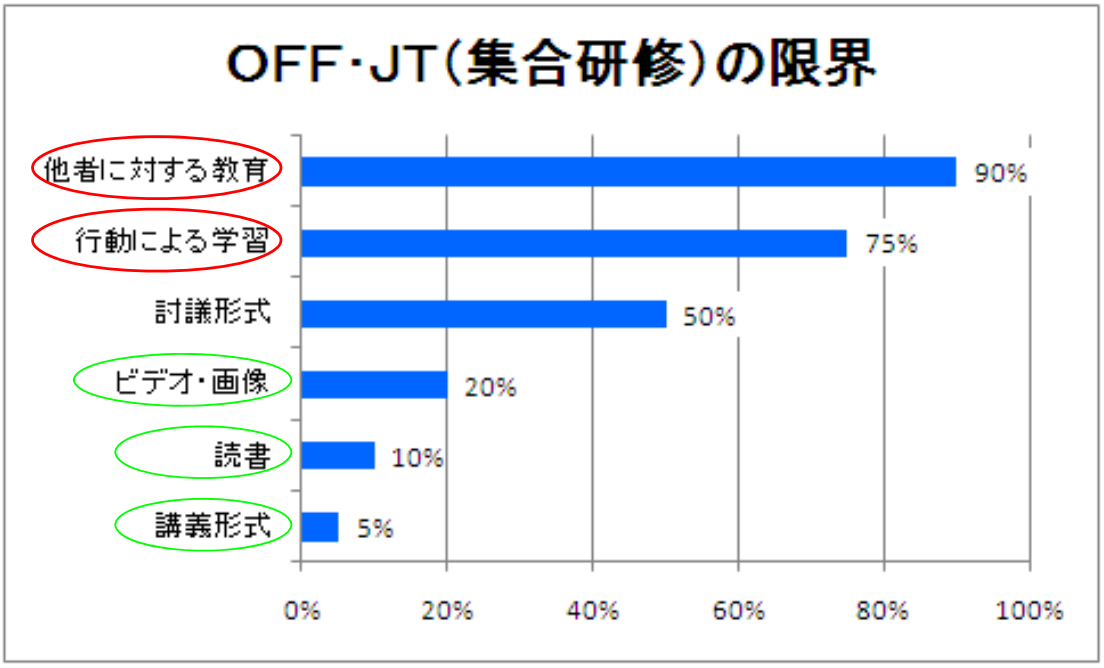
IV. 子どものキャリア教育

≪ご参考：本を読むことの効能を伝えている「本」≫

著者：藤原和博　日本実業出版社

※著者の藤原さんがお勧めする書籍(ビジネスパーソンに読んでほしい14冊、
学校では教わらない現代史を学ぶ10冊、小中高生から高校生の子を持つ親に読んでほしい15冊、
子どもといっしょに読みたい11冊)も紹介されています！

≪参考≫



出所：米国ナショナル･トレーニング･ラボラトリー調査［学習した知識の定着率］

ご清聴ありがとうございました。

明治時代に札幌農学校（現北海道大学）の初代教頭だったクラーク博士が残した有名な言葉があります。

少年よ、大志を抱け！

でも、意外に知られていない、その後に続く言葉が、あります。
私は、むしろ「少年よ、大志を抱け！」のあとに続く言葉の方が重要だと感じます。

しかし、
金を求めるのみの大志であってはならない。
利己心を求めるのみの大志であってはならない。
名声という、つかの間のものを
求める大志であってはならない。
人間としてあるべきすべてのものを
求める大志を抱きたまえ！